

平成30年度 世界史Aシラバス（1年）

帝国書院「明解 世界史A」

関心・意欲を育てる	世界の歴史に対して深い関心を持つ。
思考力・判断力をきたえる	年表や写真・地図・図表から歴史的な情報を読みとる。 歴史的な事ごと、人々の生活・文化を関連づける。
知識を身につける	世界の諸地域の歴史について基礎的な知識を身につけ、歴史的な関係がわかるようになる。

部	学習内容	時数	学習のねらい
第一章 前近代の諸文明	序. 人類の始まり 1. 東アジアの文明	4	風土、生活、言語、思想などの視点から、東アジア世界の特質を巨視的に把握させる。
	2. 南アジアの文明 3. 東南アジアの文明 4. 西アジア・北アフリカの文明	3	多様な風土と民族からなる南アジアが、宗教と社会制度を共通の基盤として一つの地域世界を形づくったことを把握させる。 イスラームの誕生と広がり、分裂の過程を理解させる。
	5. ヨーロッパの文明 6. ヨーロッパ文明の源流 7. キリスト教と分かれるヨーロッパ 8. 教皇と十字軍遠征 9. まちとくにの発達 10. 南北アメリカの文明 11. ユーラシアの交流圏	7	ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパ世界の特質を理解させる。 地中海海域のネットワークを活発化させたイタリア商人・ムスリム商人の活動と、地中海海域の交流の様相を把握させる。
第二章 一体化に向かう世界	12. 繁栄するアジア 13. モンゴル帝国後の諸大国 14. イスラーム諸王朝の繁栄 15. 明の繁栄 16. 清の繁栄 17. 交易で結びつく東アジア諸国	6	アジア諸帝国の政治と社会を扱い、17・18世紀の世界の特質を理解させる。 住民を改宗させたサファビー朝に対し、異教徒に寛容なムガル朝との宗教政策を対比的とらえる。
	18. ヨーロッパで花開く個性と自由 19. 大航海時代 20. ヨーロッパの新しい国際関係 21. イギリス革命とフランス絶対王政 22. ロシアの拡大 23. アジア・アメリカへ進出するヨーロッパ	6	大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解させる。 ヨーロッパに成立した主権国家体制や大西洋貿易の展開を扱い、17・18世紀の世界の特質を理解させる
	24. イギリスから独立するヨーロッパ 25. フランス革命 26. ナポレオンからウィーン体制へ 27. フランス革命 28. 大西洋を越えて広がる革命の波 29. 産業革命 30. 資本主義と社会主義	7	アメリカ独立革命・フランス革命によって、アメリカ合衆国とヨーロッパに市民社会が誕生したことを理解させる。 産業革命によってイギリスの覇権が確立し、世界の構造的な一体化が進んでいったことに着目させる。 ウィーン体制下の各地で自由主義・ナショナリズムの運動が高まり、イタリアやドイツなどで国民国家が形成されたことを把握させる。

	<p>31. アジア諸国の動揺 32. オスマン帝国の弱体化 33. 侵略に対抗するイスラーム諸国 34. ムガル帝国の崩壊 35. 東南アジアの植民地化</p>	5	<p>ヨーロッパ列強のアジア侵略の特色を、ヨーロッパにおける資本主義の発展と関連させて理解させる。 ヨーロッパの進出によるアジア諸国の変容を把握させ、19世紀の世界の一体化を理解させる。 帝国主義時代における列強の世界政策の様相を世界史的視野から考察させ、アジア・アフリカの変貌と諸民族の民族的覚醒について理解させる。</p>
第三章 地球社会と日本	<p>36. 大衆社会の出現 37. 世界の分割を進めた帝国主義 38. 世界の一体化と人口移動</p>	3	<p>19世紀末から20世紀初頭にかけての欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化に着目させ、現代社会の原型が成立したことを理解させる。</p>
	<p>39. ドイツとバルカン半島の緊張 40. 総力戦 41. ロシア革命と民族の問題 42. ウィルソンとヴェルサイユ体制 43. 第一次大戦後の列強 44. 中東・インドの民族運動 45. 東アジアの民族運動 46. 世界恐慌とローズヴェルト 47. ファシズムの台頭 48. 経済不況から日中戦争へ 49. ヒトラーの要求と第二次世界大戦 50. 被害の拡大と戦争の終わり</p>	1 2	<p>第一次世界大戦から1920年代の国際政治の大きな流れを理解させ、国際社会の枠組みの変化に気付かせる。 初期のソヴィエト政権が、世界革命、ことに先進ヨーロッパの革命の展開にかけた期待の大きさにきづかせる。 世界恐慌の発生からファシズムの台頭を経て第二次世界大戦終結にいたるまでの政治・経済の動向を理解させる。 第二次大戦発生の原因を、様々の要素をあげて考えさせる。</p>
	<p>51. 新たな対立と協調の模索 52. 対立する二つの陣営 53. 第三勢力の形成と南北問題</p>	3	<p>米ソ両陣営の対立や民族独立運動の展開を扱い、1960年代前半までの世界の政治・経済の動向を理解させる。</p>
	<p>54. 冷戦終結への道のり 55. 地球社会への歩み 56. 持続可能な社会をめざして</p>	7	<p>1960年代後半から現在までの地球社会形成に向けての、諸地域世界の情勢の大きな流れを理解させる。 現代の科学技術の人類への寄与と課題について、主体的に追究させ、レポートにまとめさせたり、発表させたりする。</p>